

高校地理歴史教育 に関するシンポジウム

開催主旨

日本学術会議は2011年に提言「新しい高校地理・歴史教育の創造—グローバル化に対応した時空間認識の育成—」(2011.8.3)を発表し、地理基礎・歴史基礎の新設必修化などを軸にした新たな方向性を提起しました。その後の議論と実践を踏まえ、今、なぜ、地理基礎・歴史基礎が日本の教育にとって大切かを改めて日本学術会議から発信します。

2014年

6 / 14 土

13:00～17:00

東京大学駒場キャンパス
21KOMCEE レクチャーホール



開場 12:30

開会挨拶 木村 茂光(日本学術会議第一部会員、帝京大学文学部教授)

第一部 日本学術会議からの報告と実践報告 13:10-15:15

再び高校歴史教育について—“歴史基礎”科目に求められるもの

久保 亨(日本学術会議第一部会員、信州大学人文学部教授)

グローバル化時代の高校歴史教育とB科目の改革

油井 大三郎(日本学術会議特任連携会員、東京女子大学現代文化学部教授)

高校地理教育について—“地理基礎”の将来性と課題

井田 仁康(日本学術会議連携会員、筑波大学人間系教授)

高校選択科目“地理”の内容

秋本 弘章(独協大学経済学部教授)

＝実践報告：高校教育の現場から＝

京都府立西乙訓高校における地歴融合科目の実践

須原 洋次(京都府立鳥羽高等学校校長)

日本橋女学館高校における地理基礎、歴史基礎の実践

揚村 洋一郎(日本橋女学館中学校・高等学校校長)

神戸大学附属中等学校における地理基礎・歴史基礎の実践

山崎 健(神戸大学発達科学部教授)

休憩 15:15-15:30

第二部 自由討論 15:30-16:50

閉会挨拶 碓井 照子(日本学術会議第一部会員、奈良大学名誉教授)

問合せ先：信州大学人文学部久保研究室(松本市旭 3-1-1)

筑波大学人間系井田研究室(つくば市天王台 1-1-1)



主催

日本学術会議史学委員会高校歴史教育に関する分科会

日本学術会議地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会

高校歴史教育研究会、日本地理学会地理教育専門委員会